

脳波検査

脳波とは、脳細胞の活動に伴って生ずる電気活動を記録したもので、脳機能を推定する検査です。てんかんや意識障害が疑われるときに検査します。痛みはありません。頭に電極をつけ、深呼吸の検査と、光を目の前から当てる検査の後、眠っていただきます。

※脳波検査の注意点

- ◎ 頭、顔、耳たぶの裏、両手に医療用のクリームをつけますので、整髪料や装飾品等はお控え下さい。
- ◎ 入眠しやすいよう、前日は寝不足にするなどのご協力をお願いします。
- ◎ 乳幼児は、薬で眠らせてから検査することがあります。
- ◎ 検査終了後、洗髪が可能です。シャンプーやタオルなどをご持参下さい。

大脳誘発電位

● ABR（聴性脳幹反応）

頭と耳たぶに電極を付け、ヘッドホンから出る音を聞いていただきます。内耳（蝸牛）から脳幹まで、聴神経の伝達経路のどこに異常があるかがわかります。

※注意点：乳幼児は、薬で眠らせてから検査することがあります。

● VEP（視覚誘発電位）※

頭に電極を貼り付け、ゴーグルから出る光を見ていただきます。網膜から脳の視覚領まで、視神経路のどこに異常があるかがわかります。

● 上肢 SEP（体性感覚誘発電位）※

頭、うなじ、鎖骨上、上肢に電極を貼り付け、手首を電気刺激します。多少の不快感を伴います。上肢の末梢神経から脳幹、大脳皮質に至る神経路のどこに異常があるかを調べる検査です。

※現在、装置故障のため対応しておりません

神経伝導検査

神経に電気刺激を与えて、その刺激が神経を伝わる速度を計測します。刺激強度によって痛みを感じる場合もあります。筋力低下などの症状が筋肉の異常なのか、あるいは神経の異常なのかを判別することができます。

● 上下肢スクリーニング

手足の検査です。腕（肘から先）や下腿（膝から下）を露出しやすい服装でお越しください。

● ENoG

顔面の検査です。